

急性期脳卒中患者の自宅退院可否に関する検討

1. 研究の対象

2019年4月から2020年8月に当院へ入院し、神経内科医あるいは脳神経外科医により脳梗塞と診断され、リハビリテーション（リハビリ）処方が為された患者のうち、退院先が自宅あるいは回復期病院であった方。

2. 研究目的・方法

入院早期から患者の予後を予測することで、リハビリで適切な運動療法・ADL訓練を立案することができます。本研究では、急性期脳梗塞患者の転帰先を発症早期から予測したく、特に自宅退院の可否に関連する因子を抽出することを目的とします。

対象者を転帰先に応じて「自宅退院」または「リハビリ病院転院」の2群に分類し、患者背景、医学的情報を後ろ向きに比較検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

<患者背景>

年齢、性別、BMI、入院前の生活自立度、世帯構成人数、既往歴等

<医学的情報>

脳梗塞の病型分類、入院時血清アルブミン値、嚥下機能評価、高次脳機能障害の有無、脳卒中運動麻痺重症度、離床開始までの日数、初回離床時の生活・基本動作レベル等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：〒507-8522 岐阜県多治見市前畑町5丁目161番地

TEL：0572-22-5311 E-mail：wakamiya-yukari@tajimi-hospital.jp

担当者の所属：地方独立行政法人 岐阜県立多治見病院 リハビリテーション科

氏名：若宮 有加莉（研究責任者）

山内 涉

三國 花奈